

矢野の小宮

～矢野でお宮といえば尾崎神社、お寺といえば長慶寺のことである。
一口にこみや（小宮）というが、小さな祠（ほこら）だけでなくお堂
（どう）をもふくみ、親しく「～さん」づけに呼んできた。～

- (1) 愛宕社（あたごしゃ）
- (2) 三王社（さんのうしゃ）
- (3) 狐原（きつねばら）大師堂
- (4) 白鳥（しらとり）社
- (5) 花上（はながみ）薬師堂
- (6) 祇園社
- (7) 荒神社
- (8) 住吉社
- (9) 出雲（いずも）社
- (10) 籠田（たつた）社
- (11) 姫宮社
- (12) 観音谷観音像

★矢野公民館だより 平成24年(2012年)10月号～平成25年(2013年)10月号
の記事からの再掲

★(1)～(11)

文 発喜会 楠 精洲 写真 枝長 信行

(12)

文 発喜会 楠 精洲 写真 高山 晃太郎

(1) 愛宕社(あたごしゃ)

昔は、権現(ごんげん)さんの初詣や花見として親しまれた。矢野城の守り神として文明4年(1472)野間氏により造営された。参道(15丁)には丁石(ちょうせき)が少し残る。お参りは熊野町の串掛(くしかけ)林道を下るコースが便利である。眼下に矢野が望めて眺めがよい。

祭日 4月の第3日曜日

バス停「矢野祇園」「矢野東」より東へ。



(2) 三王社(さんのうしゃ)

寛延元年(1748)小刀(こたち)の丸子の森一帯が疫病の難をのがれたので、その地に遷座(せんざ=引越し)した。

さらに先座を残して現在地(矢野西6-25)に移った。境内に弘法堂が建つ。(町内では 三玉社と表記する)

祭日 4月の第1日曜日 餅まきなど



(3) 狐原(きつねばら)大師堂

大和屋(大内家)の建立といわれるが、その年代は不明。昭和63年敷地を拡張して堂宇(どうう)を再建した。

岡の谷火葬場の六地藏尊を移して地藏祭りをする。稲荷町内会はお大師さんと地藏さんを祭る。

矢野東7、天神日広団地を上る。



(4) 白鳥社

明治初年に赤石(山)から下って現在地(矢野東6-3)に遷座(せんざ)した。社地の北東に「いぼ落し」の俗信を伝える御手洗(みたらい)がある。

白鳥さんにお参りして、神石の水をつけて後ろ向きしないで帰れば、いぼがとれるという。

祭日 4月29日(祝) 餅まき



(5) 花上(はながみ)薬師堂

古い名称は木船薬師堂。今は花上の薬師さんと呼ぶ。

宝永 5 年(1708) (友末)平七が土肥の清水を開墾(かいこん)中に金色の仏像を発掘して、お堂を建てて祭ったという。(矢野東4-38)

祭日 5月5日(祝) 餅まき



(6) 祇園社

現在の社殿(矢野西6-21)は昭和に入って造営された。

野菜畑にかくれて用をたした糞尿(ふんにょう)を大雨が流してくれて、追っ手からのがれることができたという。「祇園さんの大糞(くそ)流し」の言い伝えがある。

祭日は7月14日、浴衣(ゆかた)祭りといわれた。



(7) 荒神社

昔、荒神(こうじん)の森は小島だった。流された祠(ほくら)を持ち帰り 尾崎八幡(はちまん)に鎮(しず)めた。それ以後、八幡の祭礼のお旅所(たびしょ=みこしをとどめるところ)となった。社前に濤(みお)が掘られ、大浜港が開かれた。

埋立てにより、灯籠流しの風物詩は無くなった。(矢野西1-15)

祭日 7月17日 巖島管弦祭と同日同夜



(8) 住吉社

海上守護神ということで、山辺から海辺へ遷座(せんざ)した。

小崎新開から住吉新開の現在地(矢野西1-17)に移られた。

夏越(なごし)祭りには「茅(ち)の輪くぐり」をしたり、形代(かたしろ)に半年間の穢(けが)れを払ったりする。

夏祭り (8月17日に近い土曜日)



(9) 出雲(いずも)社

大正6年矢野駅南の丘陵地から矢野橋のたもと、水害之碑の隣り(矢野東5-2)に遷座した。「2拝(はい)4拍手(はくしゅ)1拝(ぱい)」の拝式の出雲さんは、矢野最後の夜祭りである。

祭日 9月1日



(10) 龍田(たつた)社

元文3年(1738)赤石新開の守護神として祭った。境内には(大井)大年社と獅子茸(ししなば)社を合わせ祭る。宝暦11年(1761)獅子頭(ししがしら)に似たマツタケを広島藩主にご覧にいれ称賛された。

春祭り(4月第1日曜日)のほか、八朔(はっさく)祭りを旧暦8月朔日(ついたち)に行う。

祭日 春祭り(子供相撲、餅まき)

大井、星が丘団地入口



(11) 姫宮社

姫宮社は姫神（ひめがみ）を祭る。古い歴史があり、鎮座（ちんざ）の年代は不明。元禄4年（1691）再興の後、尾崎神社のお旅所（たびしょ）となり現在に至る。姫宮（宇都宮家）は姫宮神田（しんでん）に姫宮早稲（わせ）の稲を栽培し、広島藩に奉納した。

祭日 4月第3日曜日 矢野西6-13



(12) 観音谷観音像

昔水害で流出した観音像は、向宇品に流れ着いたと伝えられる。補陀落山（ふだらくさん）観音寺（南区元宇品町）がそれである。昭和58年、町の有志により寺跡を探りお堂を建立。観音像を開眼（かいげん）供養（くよう）した。

矢野東3-19（矢野中の上方）



観音谷 観音菩薩